



プロジェクト名称

大宮駅東口商店街イルミネーション化計画

URL: http://www.itailab.se.shibaura-it.ac.jp/omiya_illumi_hp/

プロジェクト活動概要

環境システム学科の衣袋教授+衣袋研究室、桑田准教授+桑田研究室、小坂准教授は、2003年度より埼玉県さいたま市大宮駅東口駅における商店街活性化の研究を委託され、現地の調査・研究を行っている。その中で、学生で実際に街を気づけることを考えようと始まった学生主体の活動団体である。2006年度から始まり、6回目となり徐々に成長を重ねてきた。昨年度に引き続き「大宮ハンドメイドライト」「手作り感あるイルミネーション」を主題とし、本プロジェクトを通してイルミネーションと商店街の関係のさらなる親密化と商店の活力の向上を目指す。12月2日の夜から、点灯開始を予定。

活動状況報告 & 活動写真など【活動期間:2011年6月1日～9月30日】

●05月:アイデアコンペ実施

大学1年から大学院2年まで、同テーマによる設計ミニ課題を実施し優秀案を選出し実施案へと繋げるための会議を行う。また、実施可能性の高い作品も同時に選出を行った。

●06月～08月:現地調査・企画案に関するディベート

企画案実現のための現状把握・全体計画に関するミーティングを行う。アイデアコンペの作品を参考にし、商店街における現地調査や地域の人と話し合いを行うなど、議論・検討を重ねた。大宮アルディージャの企画する東日本大震災復興支援イベントに商店街の方と一緒に参加した。

●9月:地元商店街イベントのための展示企画会議

商店街のイベントでイルミネーションの宣伝を行うために、参加型企画の案など検討を重ねた。過去の活動が分かる展示、今年度の主役である歩道を利用した流れのあるイルミネーション(天の川をイメージ)の試作展示を同時に行うことになった。

●同月:まちづくりイベントのための展示企画会議

埼玉県で行われる、まちづくりイベントに参加するために、展示方法のスタディを行っております。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

10月中旬:地元商店街イベントに参加

10月下旬:まちづくりイベントに参加

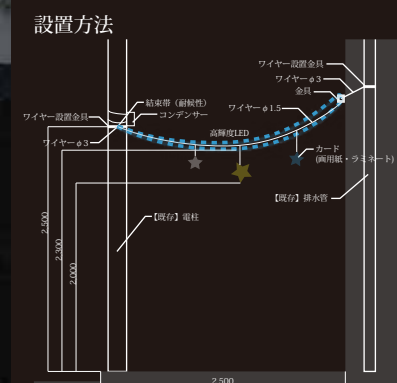
11月上旬:イルミネーション器具作成

11月下旬:イルミネーション設置

12月2日:点灯式

2012年1月中旬:イルミネーション撤去

12月2日夜、大宮駅東口商店街は“ハンドメイド”の光に包まれます。
天の川のイルミネーションの中であなたの「願い星」を見つけてください!!!



費用概算 (電柱間1スパンあたり)

高輝度LED10m(青)	2740円×10	27,400円
ワイヤーφ3mm	120円×20m	2,400円
ワイヤーφ1.5mm	110円×10m	1,100円
オーバルスリーブ OS-3A	768円/10×6個	461円
オーバルスリーブ OS-1A	298円/10×8個	191円
Dリンク RD-4-35 (D管)	238円×2個	476円
ターフバンド 28-304	304円×1個	304円
自在バンド IBT-206	651円×4個	2,604円
ゴムシート	1枚	241円
結実帯 (耐熱)		498円
ラミネーター本体 A4サイズ (100ミクロンフィルム対応)		2,280円
ラミネートフィルム A4・100枚		2,976円
色画用紙 8切・100枚		814円
合計		41,745円

天の川 team R 竹下・岩瀬・岩間・江森
 銀座通り商店街に、天の川のような光のアーケードをつくる。大宮のフリーマーケット等のイベントや期間中各店舗に置かれている星のカードに、願い事など思いの言葉や絵を描いてもらい、それらが天の川を彩る。商店街を訪れた人は、誰かのカードを見たり、自分のカードを探しながら、いつもの道のりを楽しみながら歩くことができる。

対象者は大宮東口商店街にやってくる歩行者で、イルミネーションは銀座通りの歩行者の行き交う歩道の低層部に集中させる。光との距離が近いこと、撤去したアーケードを彷彿とさせるつくりが親しみを感じさせる。節電による看板照明の消灯で暗くなったビル上層部や夜空を背景に、天の川の光がより存在感を際立たせる。

↑)「天の川」

学生アイデアコンペ選出案。「天の川」のような流れのある光のアーケードをつくり、通りの奥へと人々を導く。今年度は歩道にイルミネーションを仕掛けることにより、訪れた人はいつもの歩道を楽しみながら歩くことができる。



↑) ホームページ作成

イルミネーションに関する情報を掲載します。話し合いや制作過程、現地での活動を随時アップし、更新していきます。



＜大宮アルディージャの企画する東日本大震災復興支援イベント＞
 大宮アルディージャの企画する東日本大震災復興イベントに商店街の方と参加し、共同作業をととして、地域の方々と一体感が生まれました。



＜商店街現地調査＞
 大宮商店街に足を運び、設置可能な個所にスタディー用のメッシュをはり、安全性や見え方の実験を行いました。



←) 実現可能に向けた提案と検証

コンペ選出案を実現するために、使用する材料や形態の検討し、安全性などを考慮し話し合いを行います。



＜天の川の実験＞
 過去のイルミネーションを再利用し、イルミネーションで天の川見え方や色の実験を行いました。